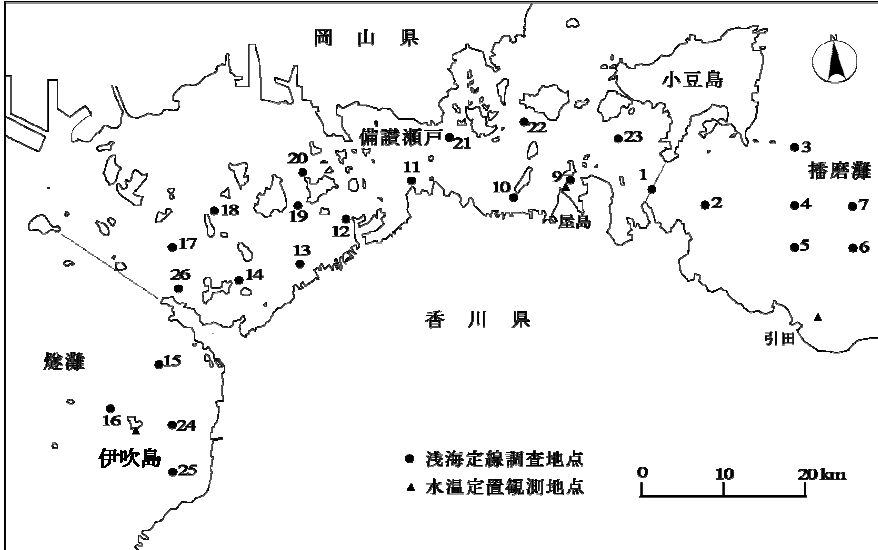


香川県漁海況情報 令和2年11月 (R2-8号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

令和2年10月30日 (備讃瀬戸, 燧灘), 11月2日 (播磨灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並み」から「やや高め」、塩分は「かなり低め」から「平年並み」、透明度は「平年並み」から「かなり高め」、溶存酸素は「かなり低め」から「やや高め」であった。

11月

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	21.0	21.0	21.2	31.8	31.9	32.1	7.6	4.48	4.26
	平年値	21.4	21.4	21.5	31.9	31.9	32.1	8.3	4.89	4.77
	平年偏差	-0.5	-0.4	-0.3	-0.1	0.0	0.0	-0.7	-0.41	-0.51
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	2.8	0.32	0.31
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	かなり低め	かなり低め
備讃瀬戸	14地点平均値	21.7	21.7	21.7	30.8	30.8	30.8	7.3	4.86	4.78
	平年値	20.6	20.6	20.6	31.8	31.8	31.8	4.9	4.85	4.82
	平年偏差	1.1	1.1	1.1	-1.0	-1.0	-1.0	2.4	0.01	-0.04
	標準偏差(σ)	1.2	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0	1.7	0.34	0.32
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め	やや低め	かなり高め	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	21.8	21.7	21.8	30.7	30.7	30.8	10.4	5.56	5.18
	平年値	20.5	20.5	20.5	32.0	32.1	32.2	7.1	5.15	4.93
	平年偏差	1.2	1.3	1.3	-1.3	-1.4	-1.4	3.3	0.40	0.25
	標準偏差(σ)	1.6	1.6	1.6	0.9	0.8	0.8	2.4	0.38	0.43
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	かなり低め	かなり低め	かなり低め	かなり高め	やや高め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和56年(1981)1月~平成22年(2010)12月

溶存酸素: 昭和56年(1981)2月~平成22年(2010)12月

水温は, 毎月1日の値に補正。

平年並み	$0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$	(σ: 標準偏差)
やや高め (やや低め)	$0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$	
かなり高め (かなり低め)	$1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$	
著しく高め (著しく低め)	$2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$	

3) 定置観測 (水温)

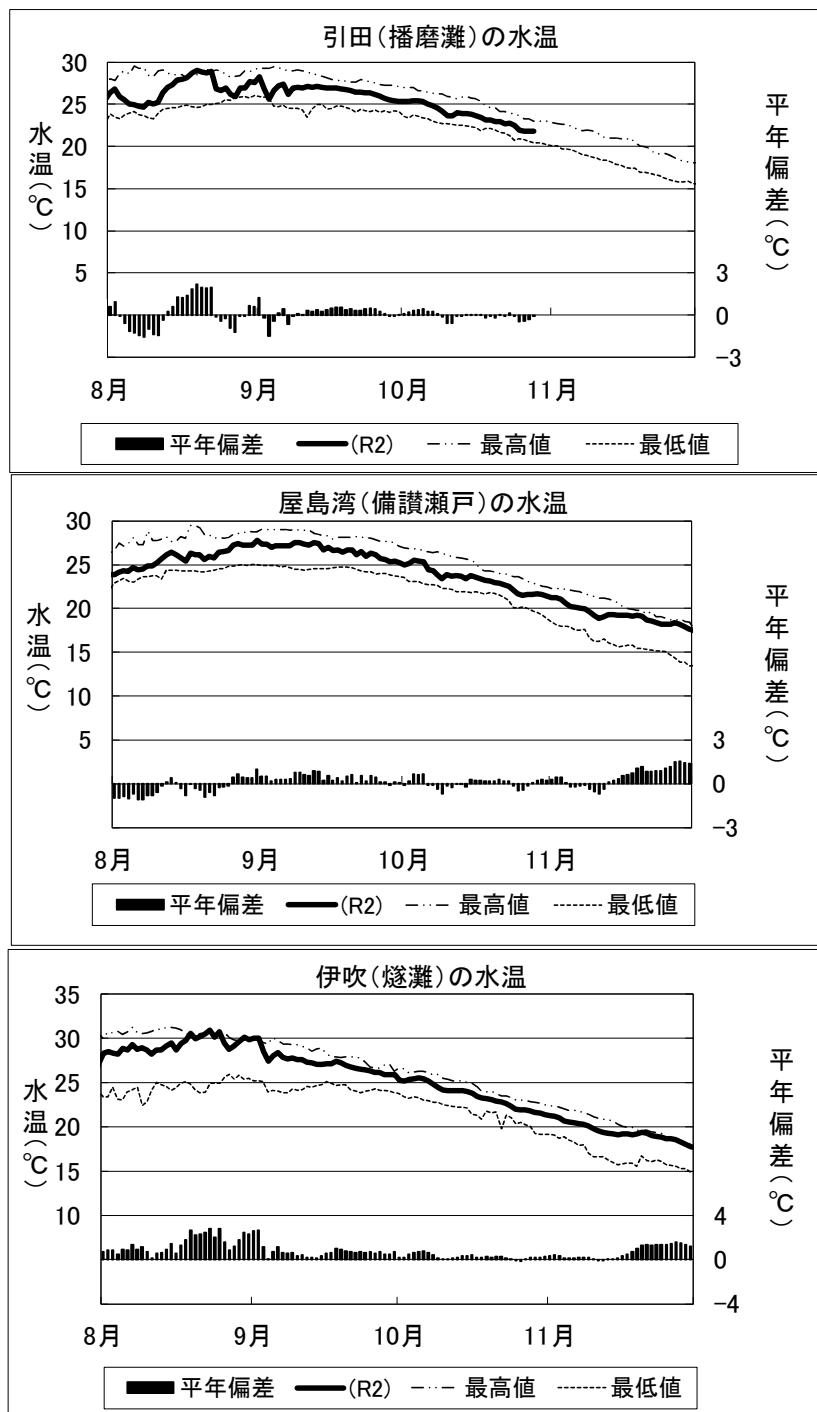
播磨灘 (引田) : 8月はかなり低めから著しく高め, 9月は著しく低めから平年並み, 10月28日から観測機器の故障により欠測 (8月中旬に4日, 8月下旬に1日, 過去最高値を更新。9月初旬に1日, 過去最低値を更新) が続いている (12月下旬に復旧見込み)。

備讃瀬戸 (屋島) : 8月はやや低めからやや高め, 9月は平年並みからやや高め, 10月は平年並みからやや高め, 11月は平年並みからかなり高めで推移している。

燧灘 (伊吹) : 8月は平年並みから著しく高め, 9, 10月は平年並みからやや高め, 11月は平年並みからかなり高めで推移 (8月中旬に1日, 8月下旬に4日, 9月初旬に2日, 11月下旬に2日, 過去最高値を更新) している。

※燧灘の水温は、平成31年4月1日から伊吹島地先で測定しているが、平年値は従来どおり大浜地先におけるデータを使用している。

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成30 (2018) 年
屋島 : 昭和50 (1975) ~平成30 (2018) 年



4) 赤潮 (11月1日～11月30日)

播磨灘・備讃瀬戸：11月9日から11月16日にかけて東かがわ市から高松市及び小豆島町から直島町にかけての沿岸及び沖合の海域で *Noctilca scintillans* による赤潮が広範囲に確認された。

燧灘：発生なし

5) 卵稚仔

調査日：令和2年10月30日（備讃瀬戸，燧灘），11月2日（播磨灘）
出現量（個・尾／曳網）

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	0.0	0.0	-	-		
備讃瀬戸	平均値	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	0.0	166.3	0.0	0.0		
燧灘	平均値	39.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	0.9	0.2	0.0	0.0		
	対平年(%)	4,194.7	121.8	-	-		
総平均	平均値	5.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
	平年値	8.0	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	72.2	115.1	0.0	0.0		

－：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

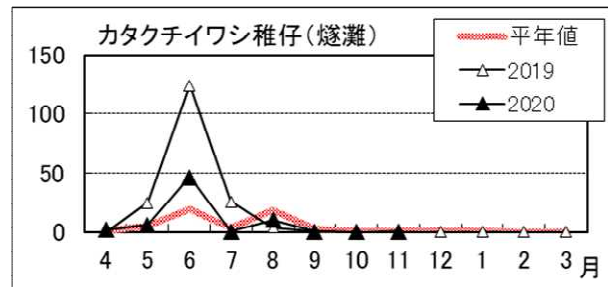
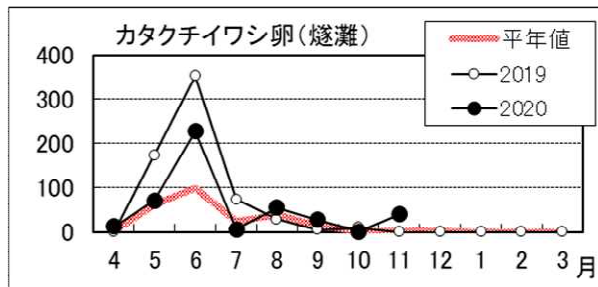
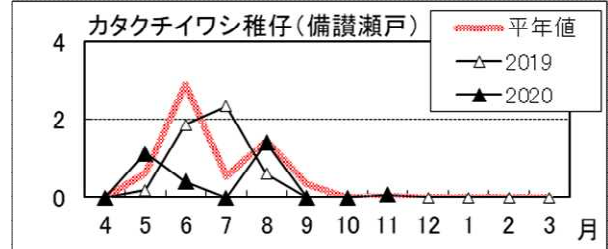
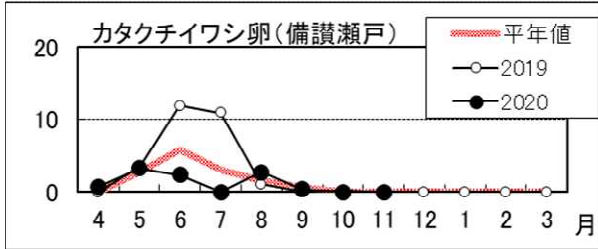
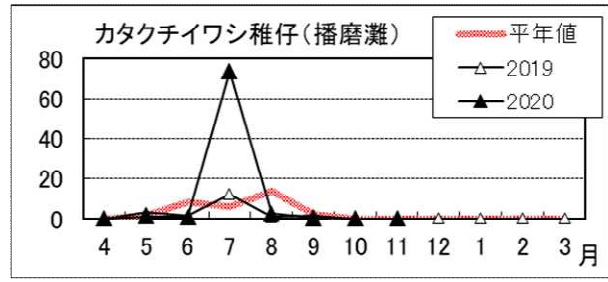
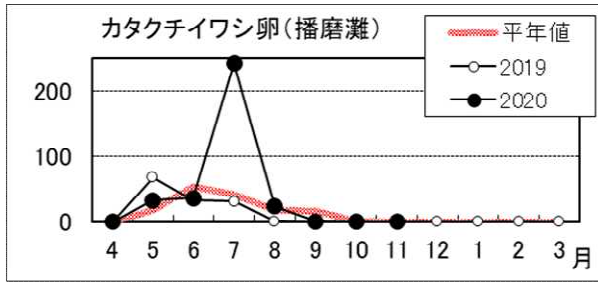
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）年度～平成31（2019）年度

マイワシ：平成6（1994）年度～平成31（2019）年度

*マイワシの卵・稚仔は，平成14年度以降，確認されていない。

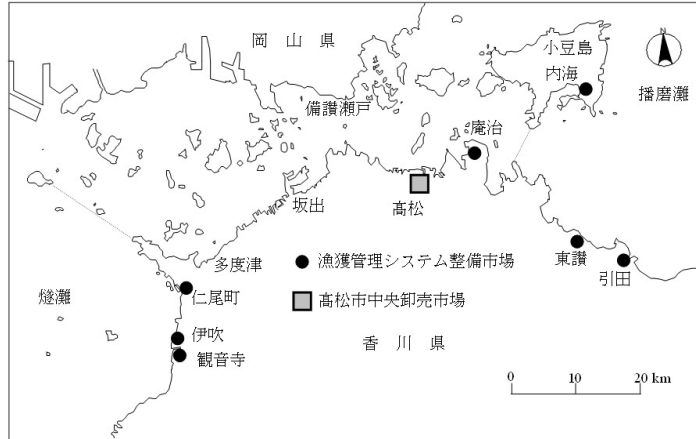
*イカナゴの卵は，沈性弱粘着卵のため，プランクトンネットではほとんど採集されない。












2. 漁況

1) 主要魚種の漁獲動向

次の地図に示す市場から収集した情報に基づいて漁獲動向を整理した。



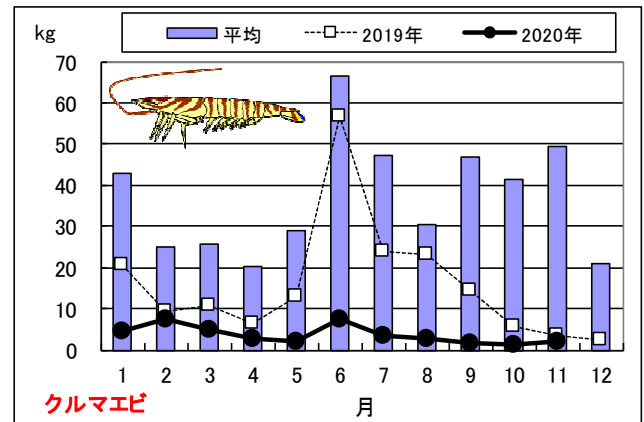
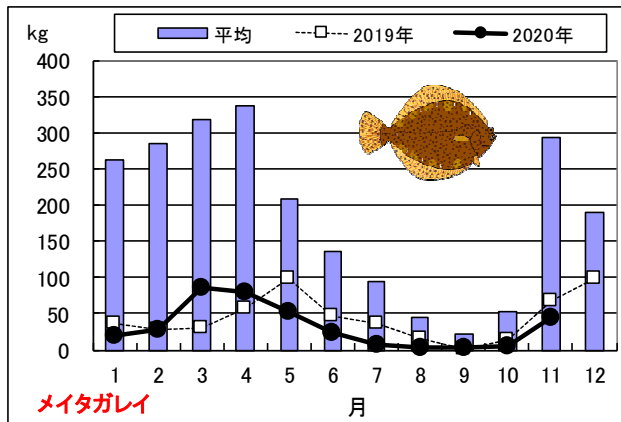
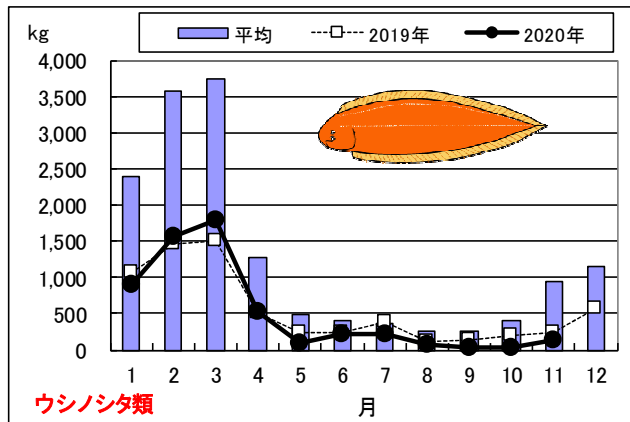
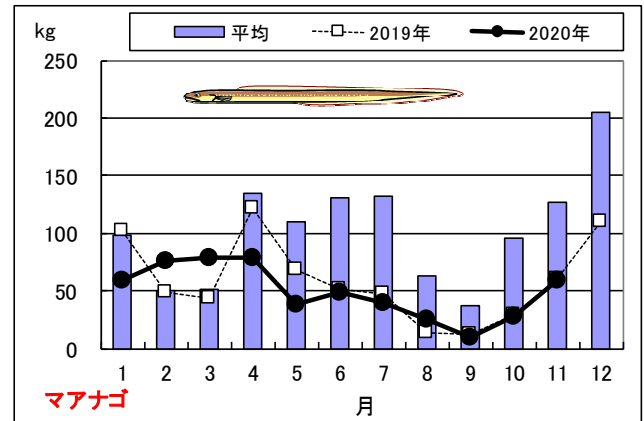
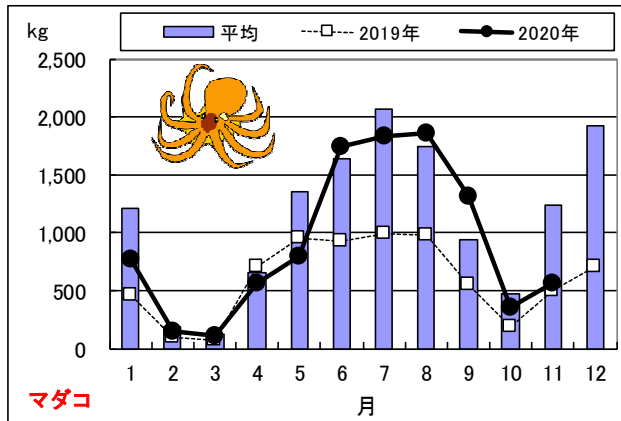
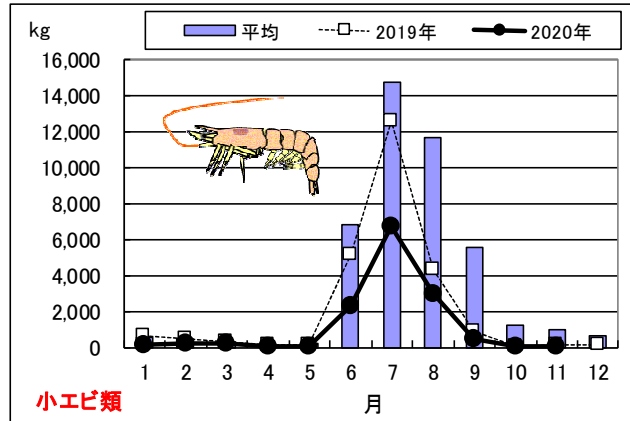
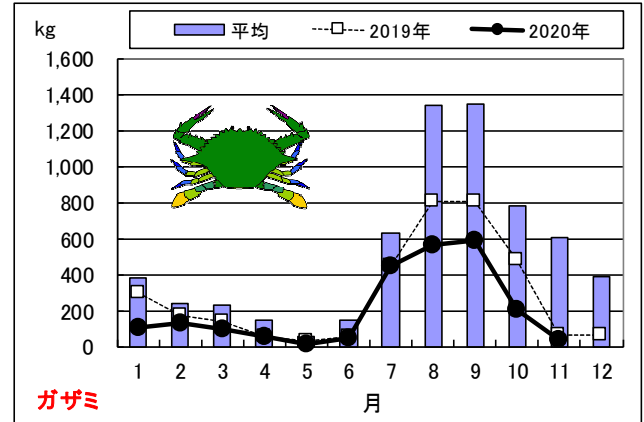
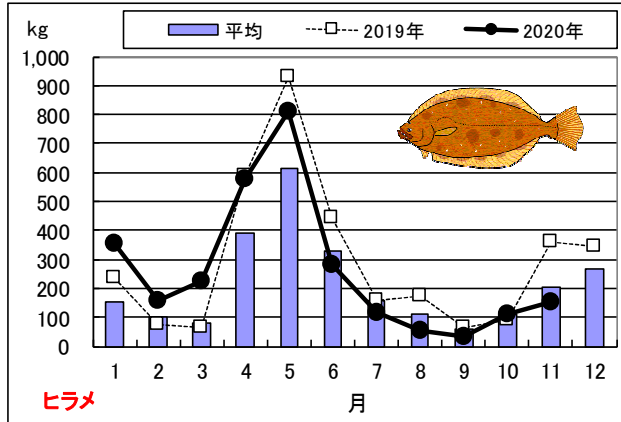
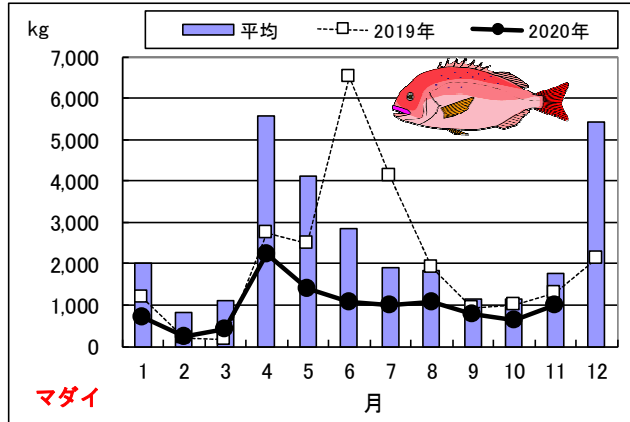
過去10か年平均値と比較した海域別魚種別漁獲動向

令和2年11月の漁獲動向	播磨灘 (引田+東讃+内海)	備讃瀬戸 (庵治)	燧灘 (仁尾町+観音寺+伊吹)
マダイ 	↓	↓	—
ヒラメ 	↓	↓	↗
ガザミ 	↓	↓	↓
小エビ類 	↓	↘	↓
マダコ 	↓	—	↓
マアナゴ 	↓	↓	↓
ウシノシタ類 	↓	↘	↘
メイタガレイ 	↓	↘	↓
クルマエビ 	↓	↓	↓

過去10ヶ年平均値比	≥200%	200% > ≥160%	160% > ≥120%	120% > ≥80%	80% > ≥40%	40% > ≥0%
判定	著しく多い	かなり多い	多い	平年並み	少ない	かなり少ない
表示	↑↑	↑	↗	—	↘	↓

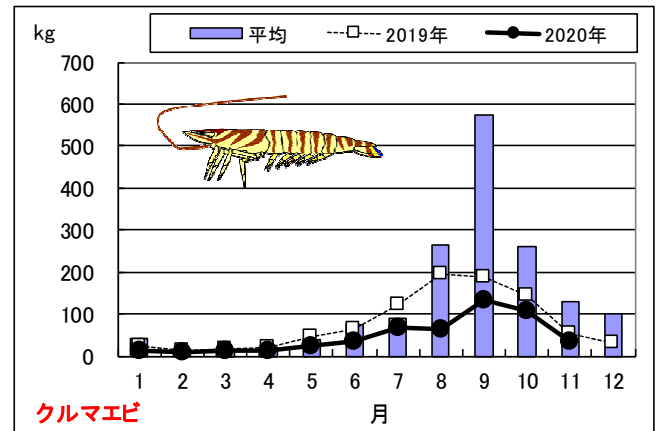
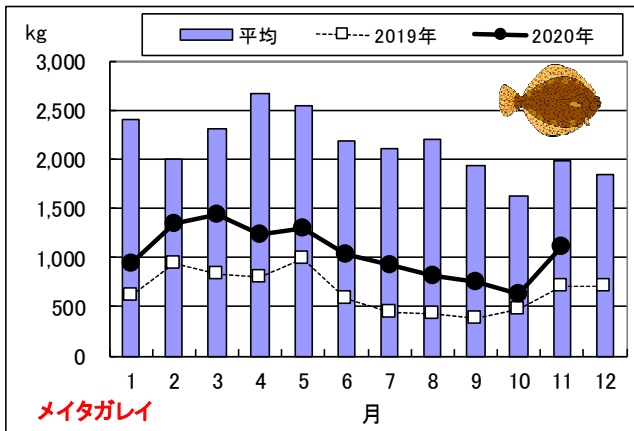
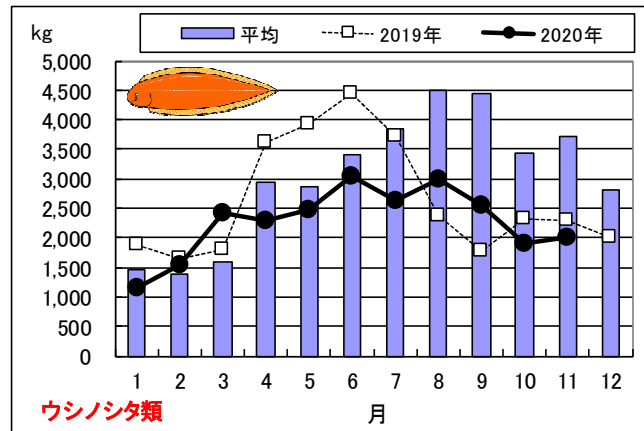
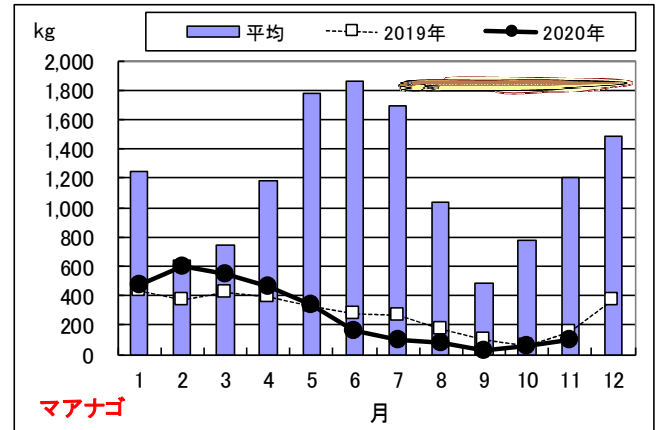
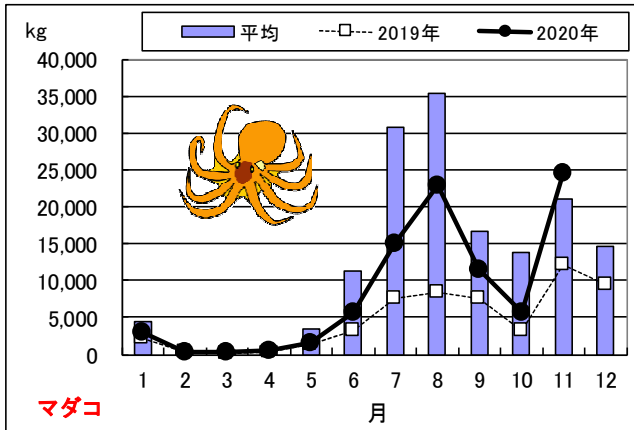
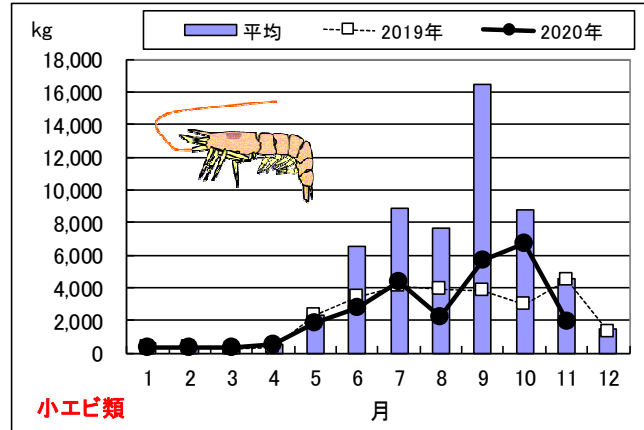
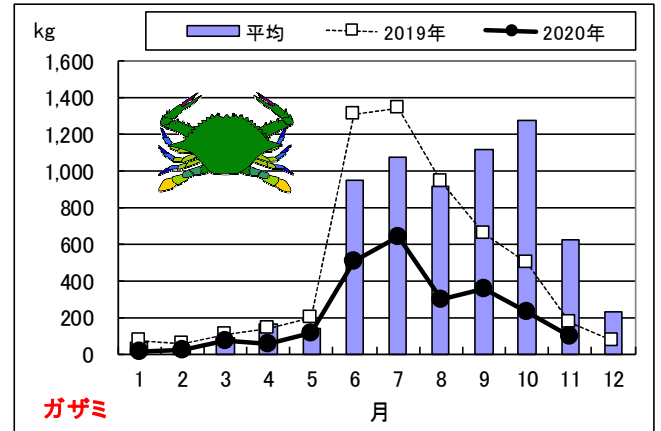
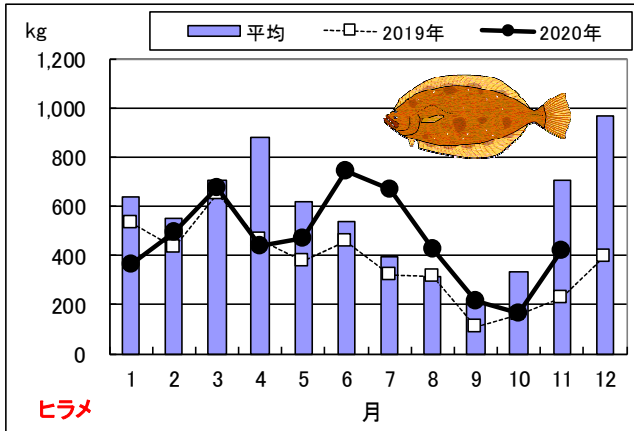
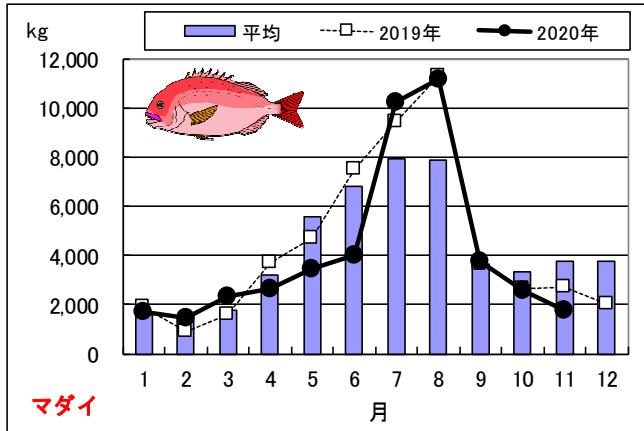
播磨灘（引田+東讃+内海） TACシステムデータより

平均値は、2010年から2019年の10年間の平均。



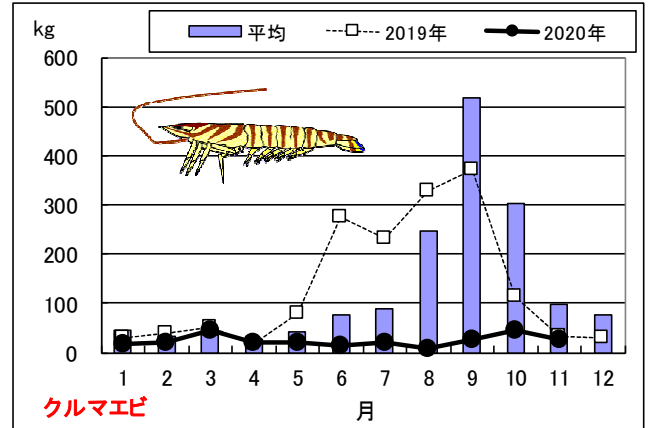
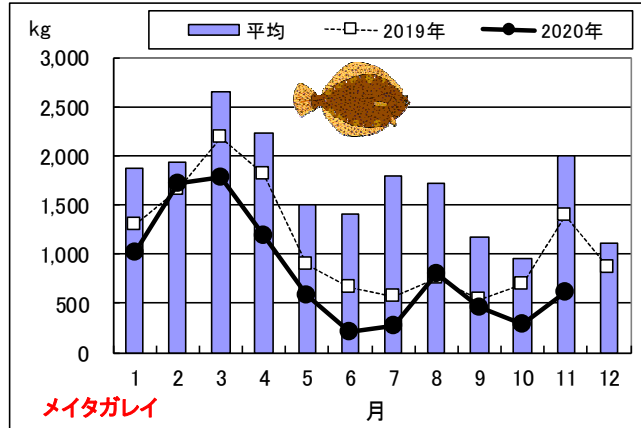
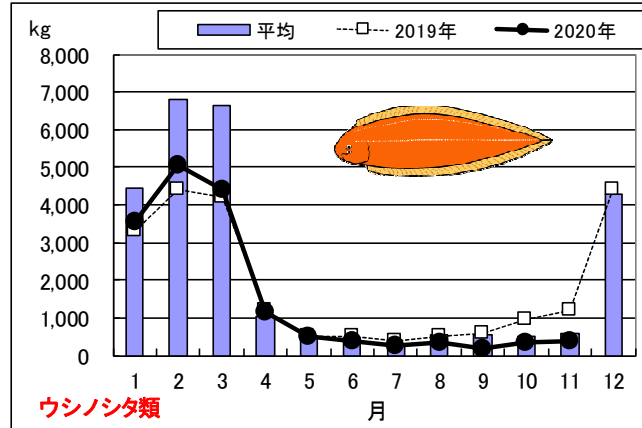
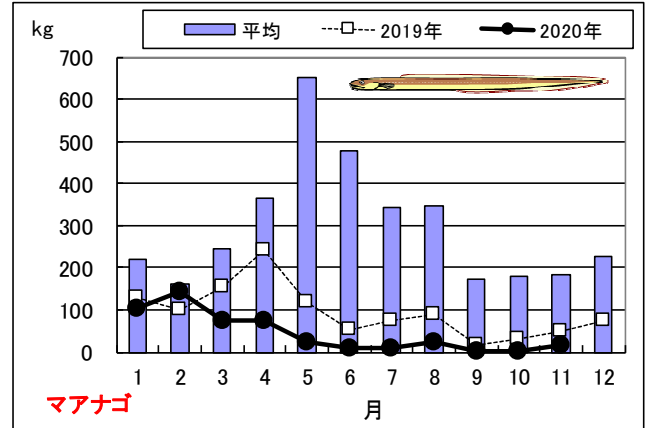
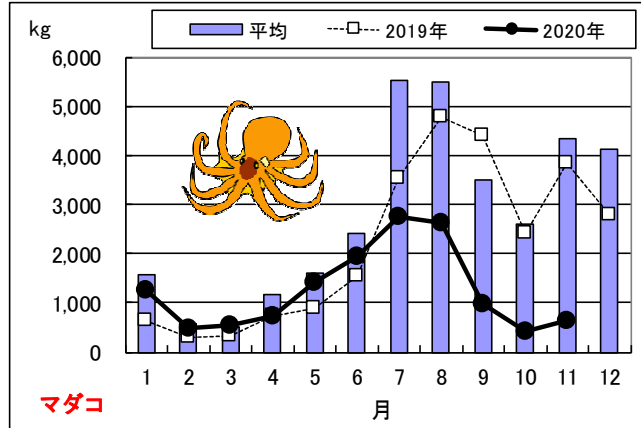
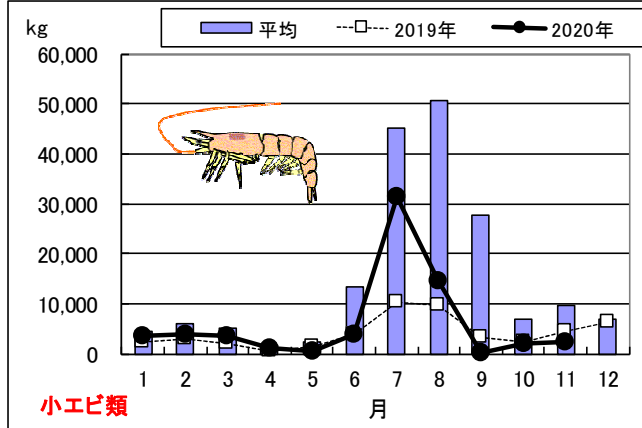
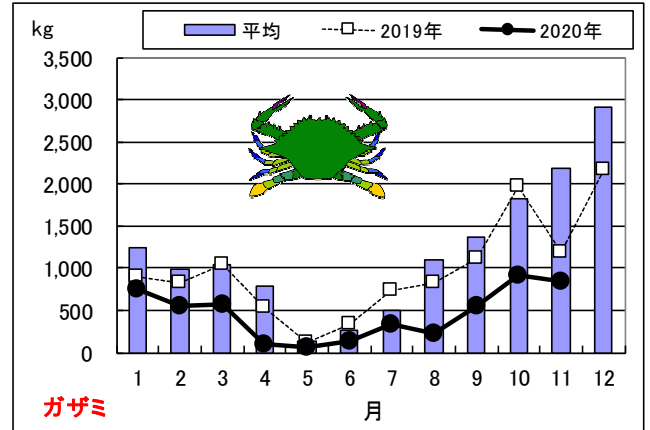
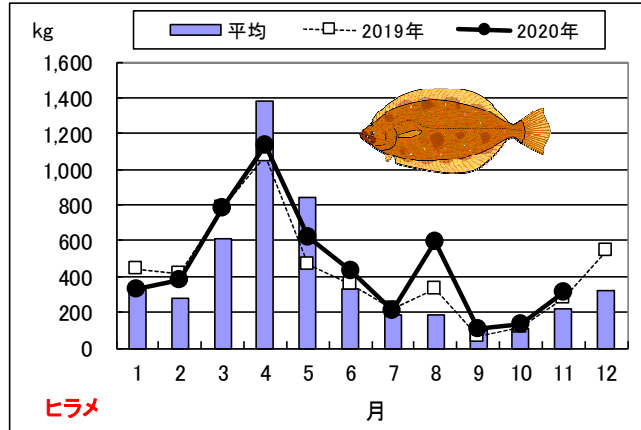
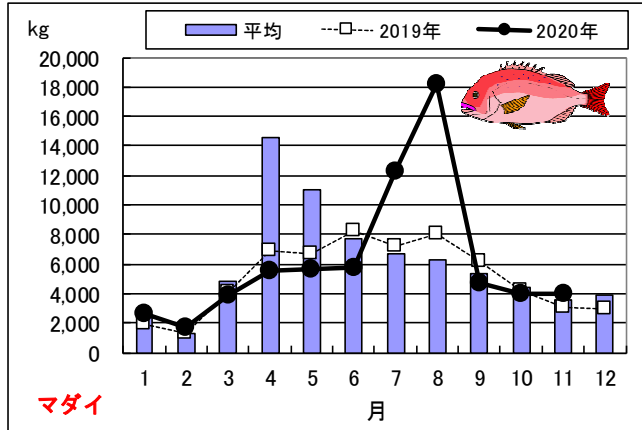
備讃瀬戸（庵治） TACシステムデータより

平均値は、2010年から2019年の10年間の平均。



燧灘（仁尾町+観音寺+伊吹） TACシステムデータより

平均値は、2010年から2019年の10年間の平均。



高松市中央卸売市場（県内産鮮魚：東讃・小豆・中讃・三豊地区からも入荷あり） 高松市HPより

平均値は、2010年から2019年の10年間の平均。

